平清盛が行なった事

貿易により財力を得て、政治の高い位を平氏で独占することで権力を得た

①（ア　　　　　）と貿易

→日宋貿易

②武士として初めて（イ　　　　）になる

平家にあらずんば、人にあらず

言葉の意味を予想しよう　　　　　　　　　　　　　解釈

不満１

不満２

（ウ　　　　　）が鎌倉を拠点に関東を支配　　源平の争乱再開

　　　　　　　　　　　　　　反乱軍（源氏＋地位を奪われた朝廷・貴族）V S 平氏軍

（エ　　　　　　　）が壇ノ浦で平氏を滅亡させる　（壇ノ浦の戦い）

　　　　　　　　　　　　　　平氏滅亡の後、（エ）に後白河天皇が大量の報酬を与える

頼朝は義経が権力を得るかもしれないと危機感を覚え対立

　頼朝　V S 義経

　　　　　　　　　　　　源頼朝　V S 源義経

　　　　1185年　源頼朝が（オ　　　　　　　）を成立

　　　　　１１８９年　義経を討伐することと同時に義経をかばった奥州藤原氏を滅亡させる

Q なぜ鎌倉幕府は長く存続したのか予想しよう　　例　武士に対して手厚い支援をしたから

鎌倉幕府が行ったこと

⑴新しい役職をおく

（カ 　　　　）　＝　国ごとに置かれ、主に警備をする役職

（キ　　　　）　＝　荘園ごとに置かれ、主に年貢の徴収を行う役職

なぜ、この二つの役職を置く必要があるのだろうか。資料を読んで考えよう

世も末で、無法者が勢い盛んになる時です。  
反逆する者がなくなることはないでしょう。  
東海道は頼朝公が支配して治まると思われますが、地方での反乱が必ず起こります。  
それを鎮めるためにその都度兵を派遣していたのでは、人々の負担となり、国費を無駄に遣うことになるので、この機会に諸国に権力を及ぼすようにし、国衙、荘園ごとに守護・地頭を設置すれば、反乱を恐れることはないでしょう。  
早く朝廷に守護・地頭の設置を申し入れすべきです。

（吾妻鏡）

自分で読み取れたこと、感じたこと　　　　　　　結論　　守護、地頭は

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 （　　　　　　　　　　　）

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　ために、設置された

⑵御恩と奉公の関係を築く

将軍は武士から　（ク　　　　　（奉公））を提供してもらい

武士は将軍から　（ケ　　　　　　（御恩））を受け取った

　　　武士

　　 　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　奉公 御恩

この関係を　（コ　　　　　　　　　　　　）という

鎌倉時代の将軍と武士は土地を媒介した

　　　将軍

主従関係で結ばれていた